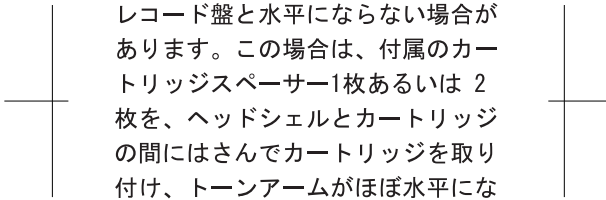


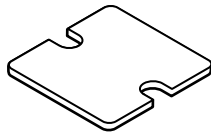


## カートリッジスペーサーの 説明書

ご使用になるカートリッジによっては、取扱説明書10ページの7-(1)「トーンアームの高さの調整」の操作をおこなっても、トーンアームがレコード盤と水平にならない場合があります。この場合は、付属のカートリッジスペーサー1枚あるいは2枚を、ヘッドシェルとカートリッジの間にはさんでカートリッジを取り付け、トーンアームがほぼ水平になるようにしてください。

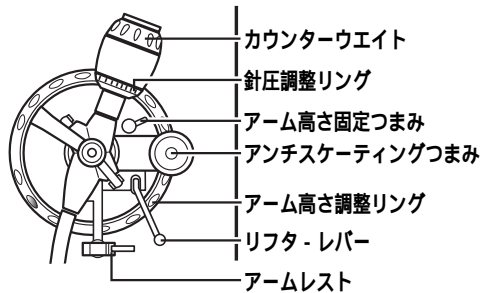
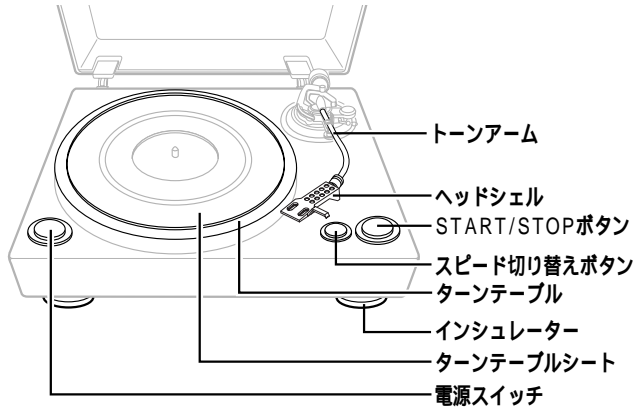


カートリッジスペーサー



本説明書はDP-1300Mのみに同梱されています。

DP-1300MKIIには同梱しておりませんが、取扱説明書の8ページ（次のページ参照）中央下部に同様の趣旨の文章を記載しております。



DP-1300MKII 取扱説明書から抜粋

## 調整のしかた

調整をおこなうときは、電源を切ってください。

### インシュレーターの高さを調整する

インシュレーターを回して、ターンテーブル面が平行になるようにそれぞれの高さを調整する。

インシュレーターを右に回すと低くなり、左に回すと高くなります。

### トーンアームの高さを調整する

レコード盤上に針先を置き、レコード面とトーンアームが平行になっているか確認をしてください。

平行になっていない場合は、トーンアームの高さを調整してください。

**1** トーンアームをアームレストに戻す。

**2** アーム高さ固定つまみを反時計方向に動かして、固定を外す。

**3** アーム高さ調整リングを回転させて、レコード面とトーンアームが平行になるようにアームの高さを調整する。

調整後は、アーム高さ固定つまみを時計方向に動かして、しっかりと締め付けてください。

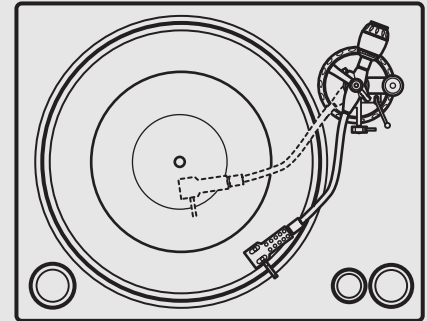


カートリッジによっては、トーンアームの高さを調整してもレコード面とトーンアームが平行にならない場合があります。このような場合は、付属のカートリッジスペーサーをヘッドシェルとカートリッジの間に挟んで、レコード面とトーンアームが平行になるように調整してください。

### 針圧・アンチスケーティングを調整する

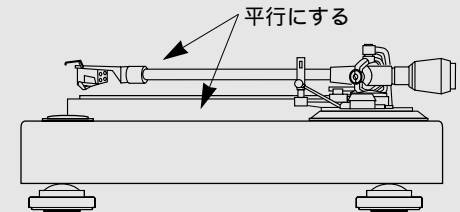
**1** アンチスケーティングつまみの目盛りを“0”に合わせる。

**2** リフタ・レバーを下げて、トーンアームをターンテーブルの上まで移動させる。



針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外してください。

**3** カウンターウエイトを前後させ、手を離れたときにトーンアームとターンテーブル面を平行になるように調整する。



質量の重いカートリッジをご使用になる場合は、別売りの重量級カートリッジ用ウエイト「ACD-45-N」をご指定ください。